

分野:総合病態診療学

主科目 副科目	救急災害医学 Emergency and disaster medicine	DM_1508	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	---	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他	
板橋	◎坂本 哲也 三宅 康史 佐川 俊世 (病院教授)	池田 弘人 金子 一郎 藤田 尚 鈴木 卓 黒住 健人 (病院准教授)	石川 秀樹 伊藤 香			
-						
-						

	救急災害医学Ⅰ (1年次)				救急災害医学Ⅱ (2年次)				救急災害医学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>軽症から重症にいたる多様な救急患者への対応能力を併せ持つ救急医の基本的能力を修得する。ER、救命救急センター、外傷センターを選択して、指導医のもとでベッドサイド教育を受けて、救急医療に必要な知識と技術の基礎を習得する。加えて、救急医療に必要な外科的手技の基礎を習得する。American Heart Association (AHA) Basic Life Support (BLS)およびAdvanced Cardiovascular Life Support (ACLS)のプロバイダー資格を取得できる能力を身につける。</p>				<p>あらゆる急性疾病、外傷、中毒などの患者を既存の専門分野に関係なく診療でき、重症の場合には必要な救命救急処置と集中治療を自分で実践できるようにする。引き続き、ER、救命救急センター、外傷センターを選択して、指導医のもとでベッドサイド教育を受けて、救急医療に必要な知識と技術を習得する。救急関連領域(内科、外科、脳神経外科、整形外科、麻酔科、関連の救急医療教育機関など)を一定期間履修することができる。AHA BLSのインストラクター資格を取得できる能力を身につける。Japan Advanced Trauma Evaluation and Care (JATEC)の資格を取得できる能力を身につける。</p>				<p>救急科専門医資格取得に必要な要件を修得する。メディカルコントロール体制や災害医療において指導的立場を発揮できる能力を修得する。ER、救命救急センター、外傷センターにおける臨床経験を継続するとともに、指導医のもとに実験/研究を開始し学会発表、研究論文を作成する。AHA ACLSのインストラクター資格を取得する。Disaster Medical Assistan Team (DMAT)の隊員資格を取得できる能力を身につける。、指導医のもとに学部学生、研修医の指導を行い、教育能力を身につける。</p>			
到達目標	<p>① 軽症から重症にいたる多様な救急患者の初期診療について説明できる。 ② 心肺停止の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。 ③ 急性循環器疾患の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。 ④ 脳血管障害の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。 ⑤ 急性呼吸器疾患の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。</p>				<p>① 重症外傷と熱傷の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。 ② 急性中毒の初期診療を説明でき、救命救急処置が実施できる。 ③ 重症患者の病態を理解し、集中治療のガイドラインについて説明できる。 ④ 循環不全の病態を説明でき、機器と薬剤を用いた循環管理が実施できる。 ⑤ 呼吸不全の病態を説明でき、機器と薬剤を用いた呼吸管理が実施できる。</p>				<p>① 脳機能不全の病態を説明でき、神経指向型集中治療が実施できる。 ② 過大侵襲の病態を説明でき、感染症と敗血症の管理を実施できる。 ③ 救急医療制度を理解し、救急医療体制の構築について説明できる。 ④ メディカルコントロール体制を理解し、病院前医療について説明できる。 ⑤ 災害と大規模事故を理解し、災害医療について説明できる。</p>			
事前事後学修	<p>教科書・シミュレーション教育 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>教科書・シミュレーション教育 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>教科書・シミュレーション教育 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度40% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート40% 資格取得20%</p>				<p>受講態度40% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート40% 資格取得20%</p>				<p>受講態度40% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート40% 資格取得20%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	救急災害医学Ⅰ (1年次)	救急災害医学Ⅱ (2年次)	救急災害医学Ⅲ (3年次)
板橋	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	総合救急診療(ER)学	外傷学	集中治療医学
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	蘇生学	神経救急医学	災害医学
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	救急災害医学Ⅰ	救急災害医学Ⅱ	救急災害医学Ⅲ
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

救急診療指針、外傷初期診療ガイドライン(JATEC)、集中治療専門医テキスト

その他履修上の注意事項

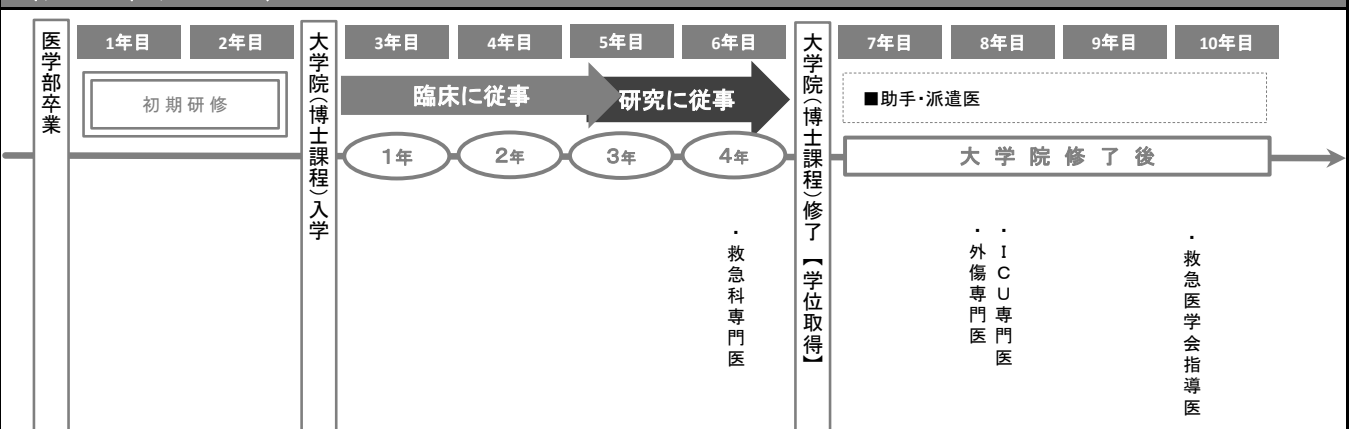
- ・講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。
 - ・救急に関連する各種シミュレーション教育への参加・インストラクター育成
 - ・国際学会・国内学会での演題発表
 - ・国内外の救急医療機関や外傷センターへの短期留学研修
- 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	麻酔科学、内科学総合、外科学(総合)、脳神経外科学、循環器病学、運動器再建・再生学、放射線診断学、公衆衛生医学
	共通科目	救急医学特論(必修)

関連する専門医資格

救急科専門医(日本救急医学会)会員歴3年、経験5年(<http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni.htm>)
 救急医学会指導医(日本救急医学会)会員歴10年、経験10年ほか(<http://www.jaam.jp/html/shidoi/shidoi.htm>)
 集中治療専門医(日本集中治療医学会)会員歴5年、経験5年ほか(<http://www.jsicm.org/senmon/index.html>)
 外傷専門医(日本外傷学会)5年、経験7年ほか(<http://www.jast-hp.org/nintei/index.html>)

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。